

公益財団法人萩陶芸美術館・吉賀大眉記念館

平成26年度 事業報告書(平成26年1月1日～12月31日まで)

平成26年度(平成26年1月1日～12月31日まで)行った事業は下記のとおりである。

公益事業

・展示事業

常設展示として所蔵作品の一般公開。

企画展示として第7回山口県現代工芸美術展開催(6月6日～9月28日)及び吉賀将夫の作品を適時に展示公開。

・萩焼き制作体験指導

・ホームページによる情報発信や申し込み受け付け。

収益事業

・公益事業費確保のため、所有の固定資産を有限会社泉流山へ賃貸。

・公益事業費確保のため、物品の販売。

各事業について述べると

・展示作品鑑賞入館者は、期間中、去年の1802名より172名減少の1630名であった。常設展示、企画展示は、昨年同様、鑑賞者に好評であったが、対外的PRが必要とされる。

・萩焼き制作体験入館者数は、去年の1933名より257名増加の2190名であった。4月より体験コースの選択肢を広げたが、それぞれ申込者があり、継続して推移を見たいと思った。

・ホームページについては、当法人の紹介や体験事業申し込み等、不特定多数の利用者のために有益に機能した。

・山口県博物館協会北部地区連絡協議会の割引入場券については、去年は202名の入場者であったが、本年度は45名増加の247名であった。

収益事業

・公益事業費確保のため、店舗及び作業場等を有限会社泉流山へ貸与し、賃貸料を徴収した。

・公益事業費確保と文化振興のため、大眉作品の図録及び絵葉書の販売を行った。

その他

・佐伯享氏より大眉作松林桂月絵付け、松の絵茶碗。佐伯直子氏より大眉作松林桂月絵付け、竹の絵茶碗。村上正子氏より大眉作松林桂月絵付け、梅の絵茶碗の寄贈があり、財産目録に加えた。

・裏山の海側崖崩落があり、処理をした。

以上